

imc 社製データロガー簡易マニュアル

2017/8 Rev.C

株式会社 東陽テクニカ
技術部第2課

本開始マニュアルは下記に関して記載されたものです。

1. PC とデータロガーの IP アドレス設定方法
2. imcDevices へのデータロガー読み込み
3. imcDevices による試験設定,及び計測開始

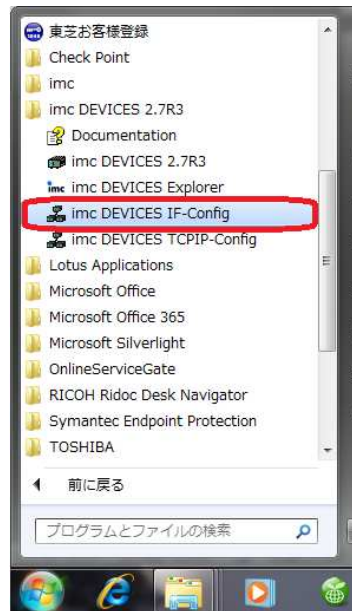
尚、imc Devices ソフトウェアのインストール方法に関しては、別途[imc Devices インストール手順書]をご参照下さい。

また、本マニュアルで説明の際に使用している機器は下記です。

機器名称	個数
制御用 PC	1
imc 社製データロガー	1
データロガー用 AC アダプター	1
LAN ケーブル	1

1. PC とデータロガーの接続設定

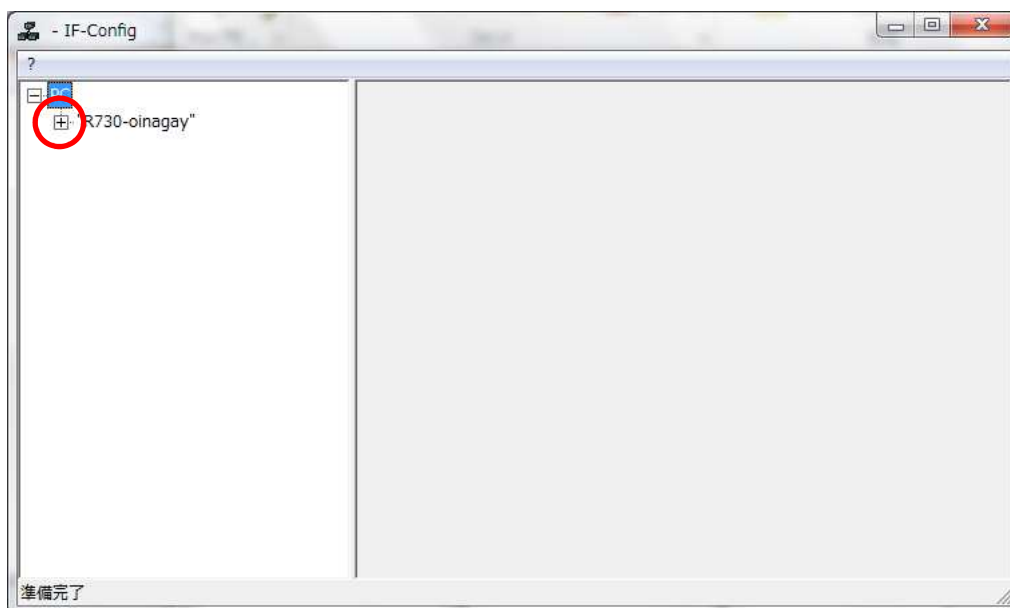
- ① 使用するデータロガーに付属の AC/DC アダプターを接続し、データロガーの電源を入れてください。
- ② データロガーと PC を LAN ケーブルにて接続してください。
- ③ PC の IP アドレス、およびサブネットマスクを Windows コントロールパネルから任意に設定してください。
例) IP アドレス [10.0.9.199]、サブネットマスク [255.255.0.0]
- ④ Windows スタートメニュー → [全てのプログラム] から [imc DEVICES IF-Config] ソフトウェアを起動してください。



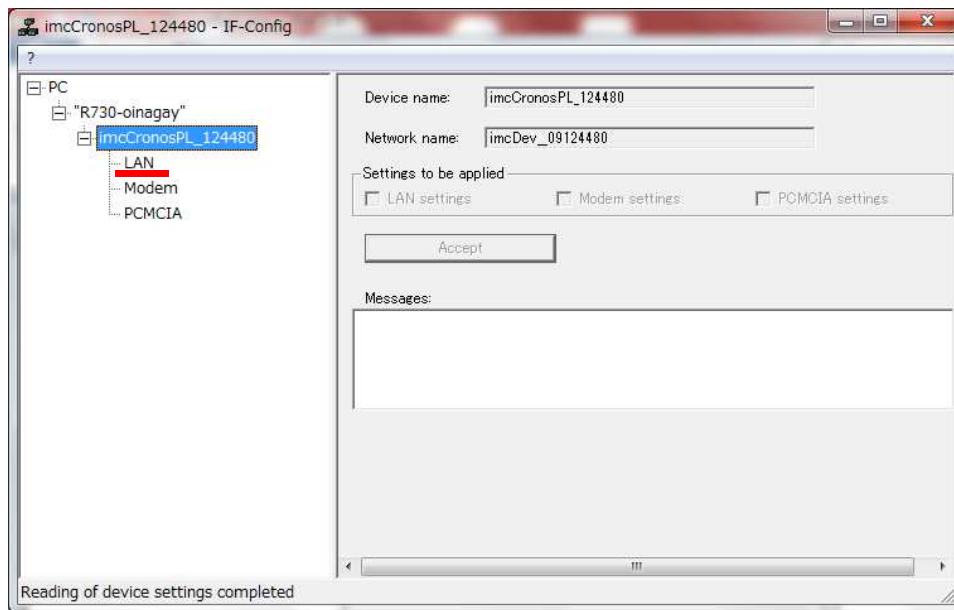
- ⑤ IF-Config メイン画面にて、表示されている PC 名の横の [+] マークをクリックして下さい。すると、PC に接続されているデータロガー名が出現します。

*データロガー名が出現しない場合、以下のことを確認してください。

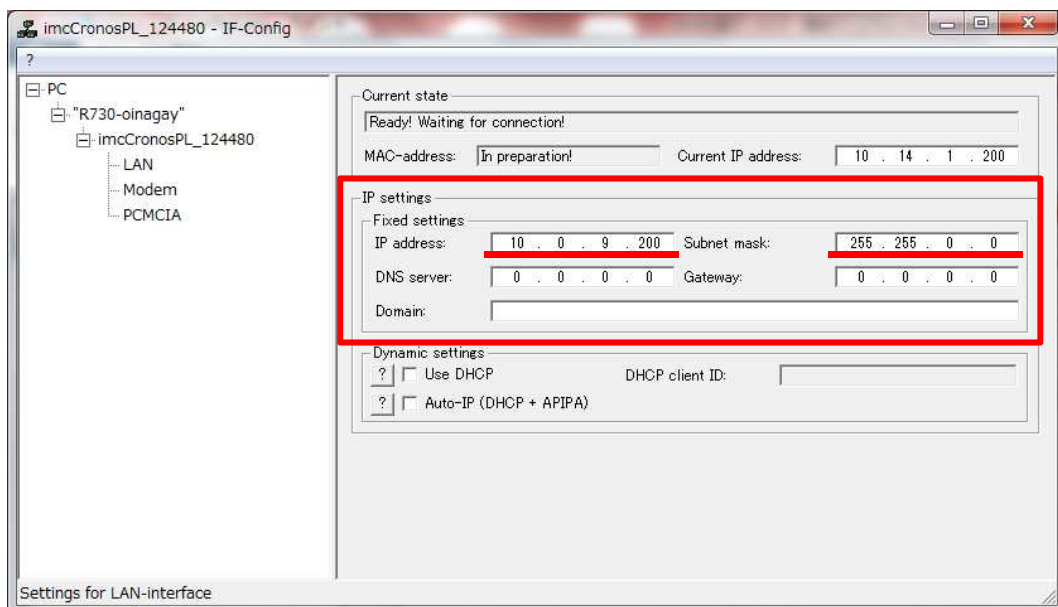
- データロガーの電源が ON になっているか
- PC とデータロガーが接続されているか



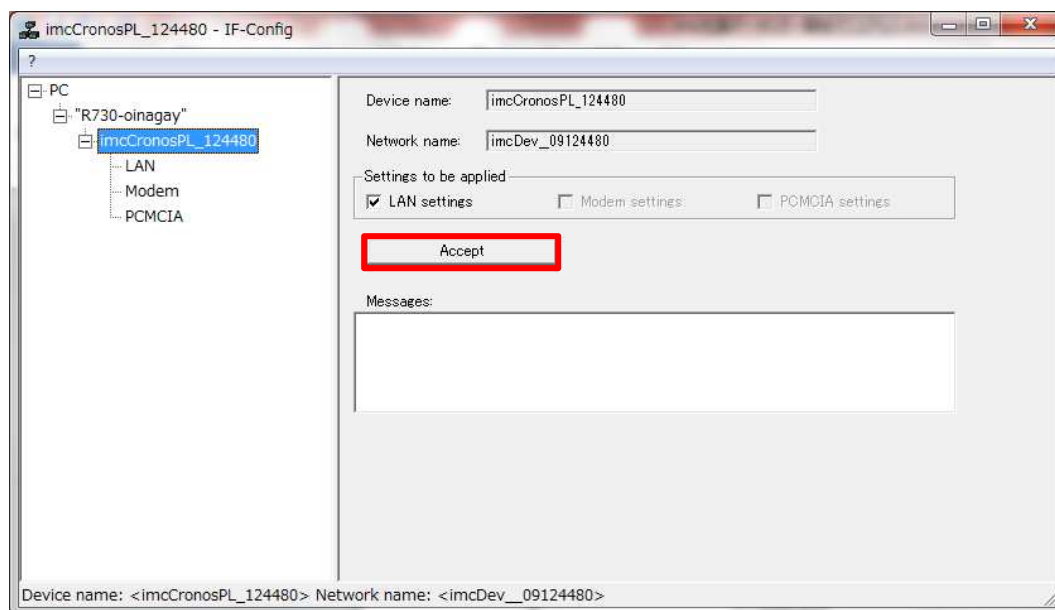
- ⑥ 出現したデータロガー名の横の[+]マークをクリックして下さい。
すると図のように[LAN]、[Modem]、[PCMCIA]が出現します。
[LAN]をクリックして下さい。



- ⑦ [IP settings]の項目にて、PC から通信が行えるよう[IP address],[Subnet mask]の設定を行ってください。
例) PC のIPアドレスを[10.0.9.199]、サブネットマスクを[255.255.0.0]に設定している場合、
CRONOS のIPアドレスを[10.0.9.200]、サブネットマスクを[255 .255.0.0]のように設定します。



- ⑧ [Accept]をクリックして下さい。するとデータロガーが自動で再起動します。再起動中はデータロガー及びPCの電源、LAN ケーブルには触らないでください。



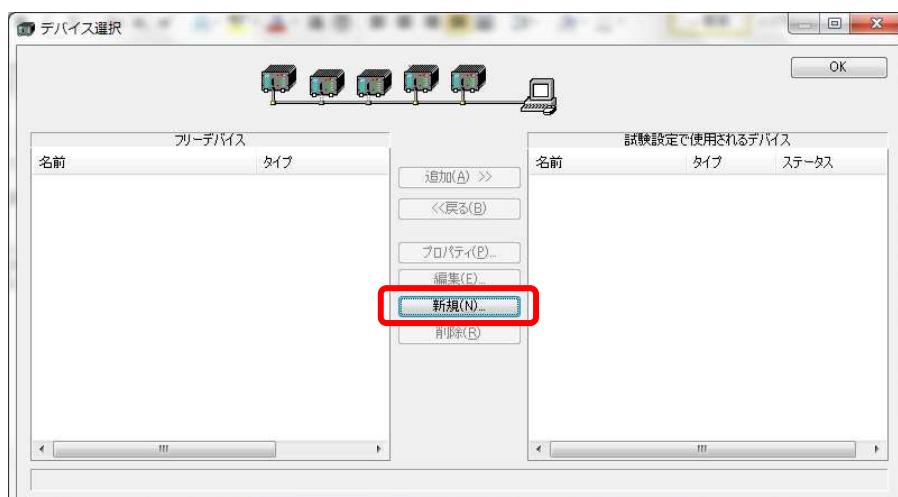
以上で PC とデータロガーの IP アドレスの設定は完了です。

2. imcDevices へのデータロガー読み込み

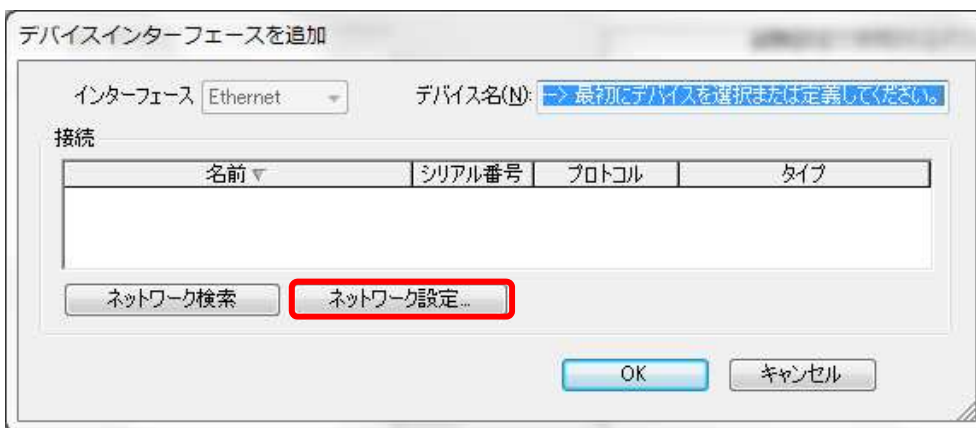
- ① imcDevices を起動してください。
- ② 出現した以下のウィンドウにて [デバイス選択] を選択してください。



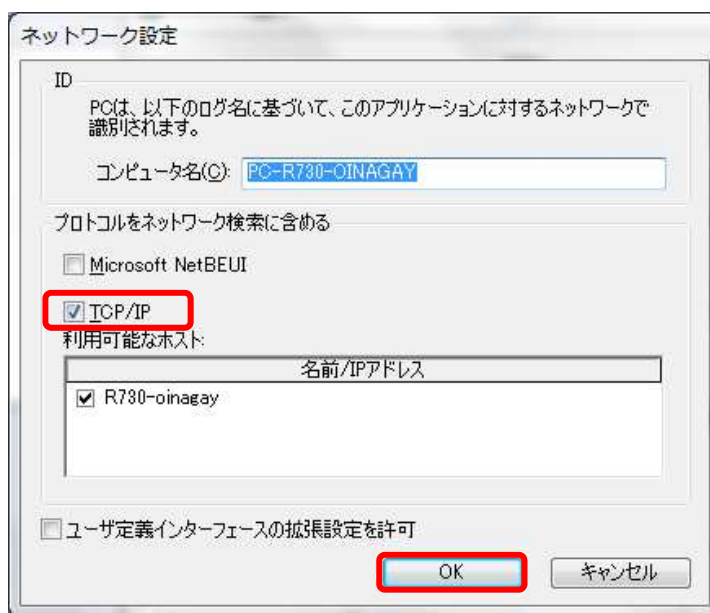
- ③ [デバイス選択] ウィンドウが出現します。[新規] を選択して下さい。



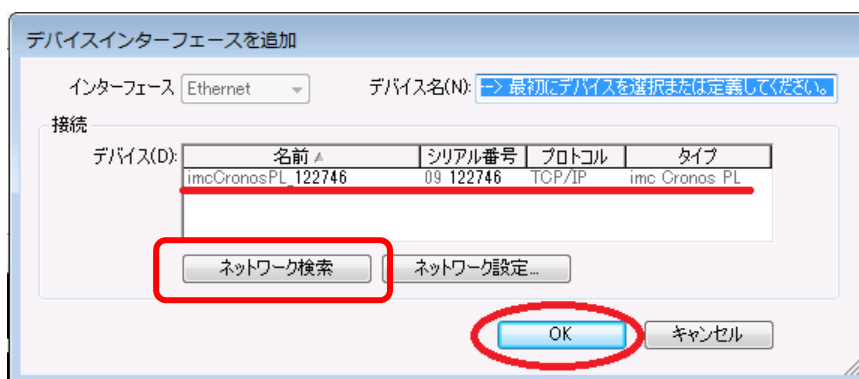
④ [デバイスインターフェースを追加]ウィンドウが出現します。[ネットワーク設定]をクリックして下さい。



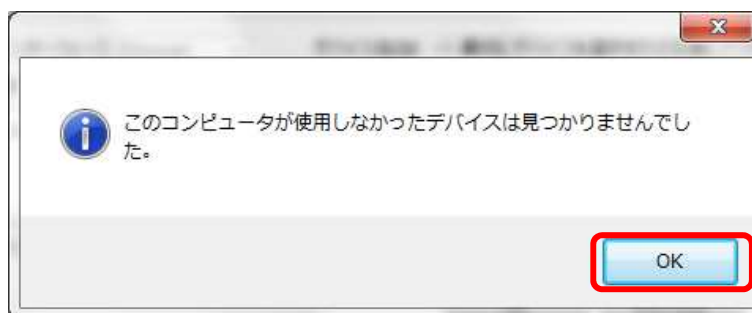
⑤ [ネットワーク設定]ウィンドウが出現します。[TCP/IP]の横のチェックボックスにチェックマークを入れ、[OK]をクリックして下さい。すると[デバイスインターフェースを追加]ウィンドウに戻ります。



- ⑥ [デバイスインターフェースを追加]ウィンドウにて、[ネットワーク検索]をクリックして下さい。すると、PCに接続しているデータロガーが読み込まれ、[接続]ウィンドウ内に名前が出現します。出現した名前をクリックして色を反転させた後、”OK”をクリックして下さい。



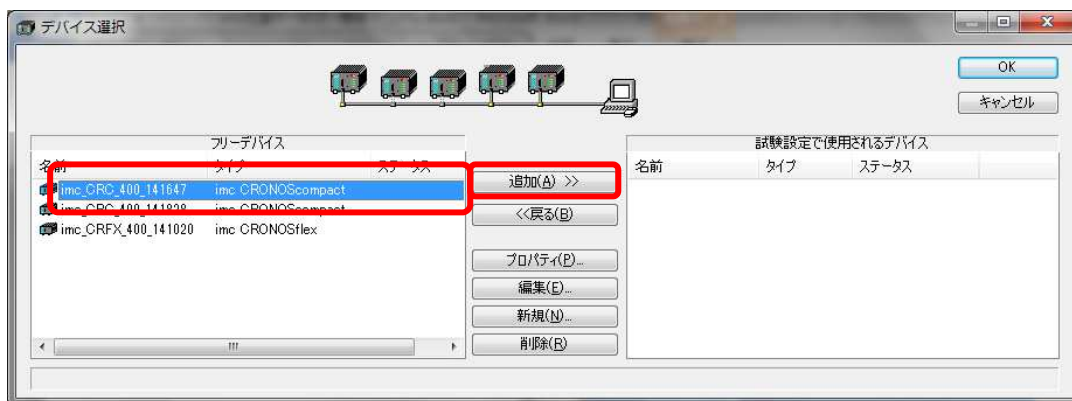
- * 接続しているデータロガーが正常に読み込まれない場合、下図のような警告ウィンドウが出現します。警告画面が出現した場合、”OK”をクリックして警告ウィンドウを消し、**1.PC とデータロガーの接続設定**で行った設定に問題がないかを確認してください。



- ⑦ ⑥の後、“デバイス選択”ウィンドウに戻ります。使用するロガーが“試験設定で使用されるデバイス”内にあることを確認したら、“OK”をクリックしてください。



- * 以前に読み込んだことがあるデータロガーは[フリーデバイス]欄に名称が残ります。名称が残っているデータロガーを使用する場合は上記③～⑥のデータロガー新規登録の手順は不要です。計測に使用するデータロガーをクリックして色を反転させ[追加]をクリックして下さい。すると、そのロガーが⑦のように[試験設定で使用されるデバイス]欄に移動しますので[OK]をクリックして下さい。



- ⑧ ⑦の後、以下の画面に戻ります。

[新規]をクリックしてください。すると imcDevices メイン画面が開きます。



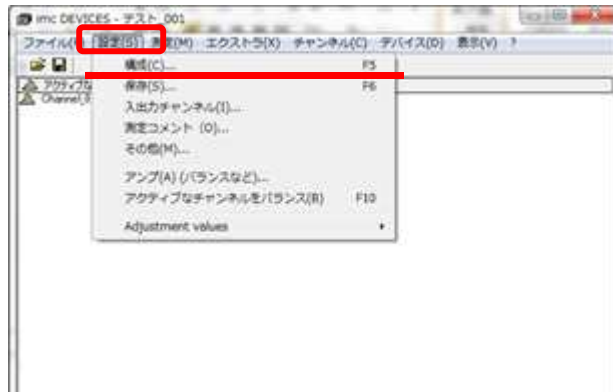
3. imcDevices による試験設定,及び計測開始

この章では下記順序にて説明を行います。

- ・試験設定の作成
- ・試験設定の保存
- ・計測の開始

・試験設定の作成

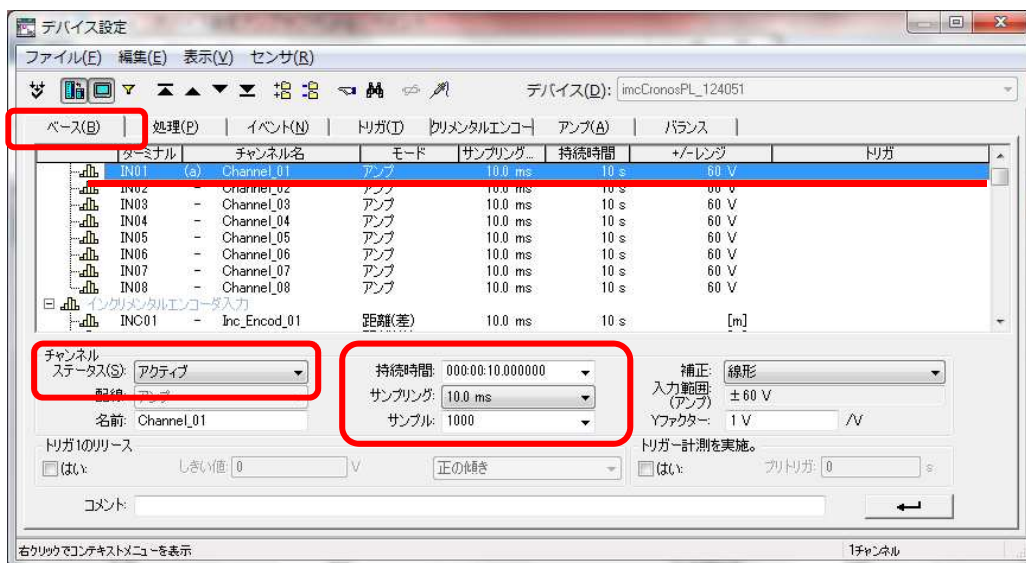
- ① 試験設定を作成します。出現した imcDevices メイン画面にて、上部のメニューから[設定] → [構成]の順に選択して下さい。



- ② 出現した[デバイス設定]ウィンドウ内[ベース]タブにて、サンプリング時間等の設定を行います。試験設定を行うチャンネルをクリックして色を反転します(PC のキーボード上の CTRL キーと併用することで、複数のチャンネルを選択することが可能です)。この画面では例えば下記項目の設定を行うことができます。設定変更後は必ず PC のキーボード上の ENTER キーを押すか、右下の矢印ボタンをクリックして設定を反映させてください。

- [ステータス] : [アクティブ]にすることで、そのチャンネルにて計測を行うことが可能です。
- [サンプリング] : 計測チャンネルのサンプリング周波数を設定します。
- [持続時間] : 計測を行う時間を設定します。

注) ”サンプル”は計測総サンプル数を表し、”持続時間”の設定値の変化と共に値が変わります。

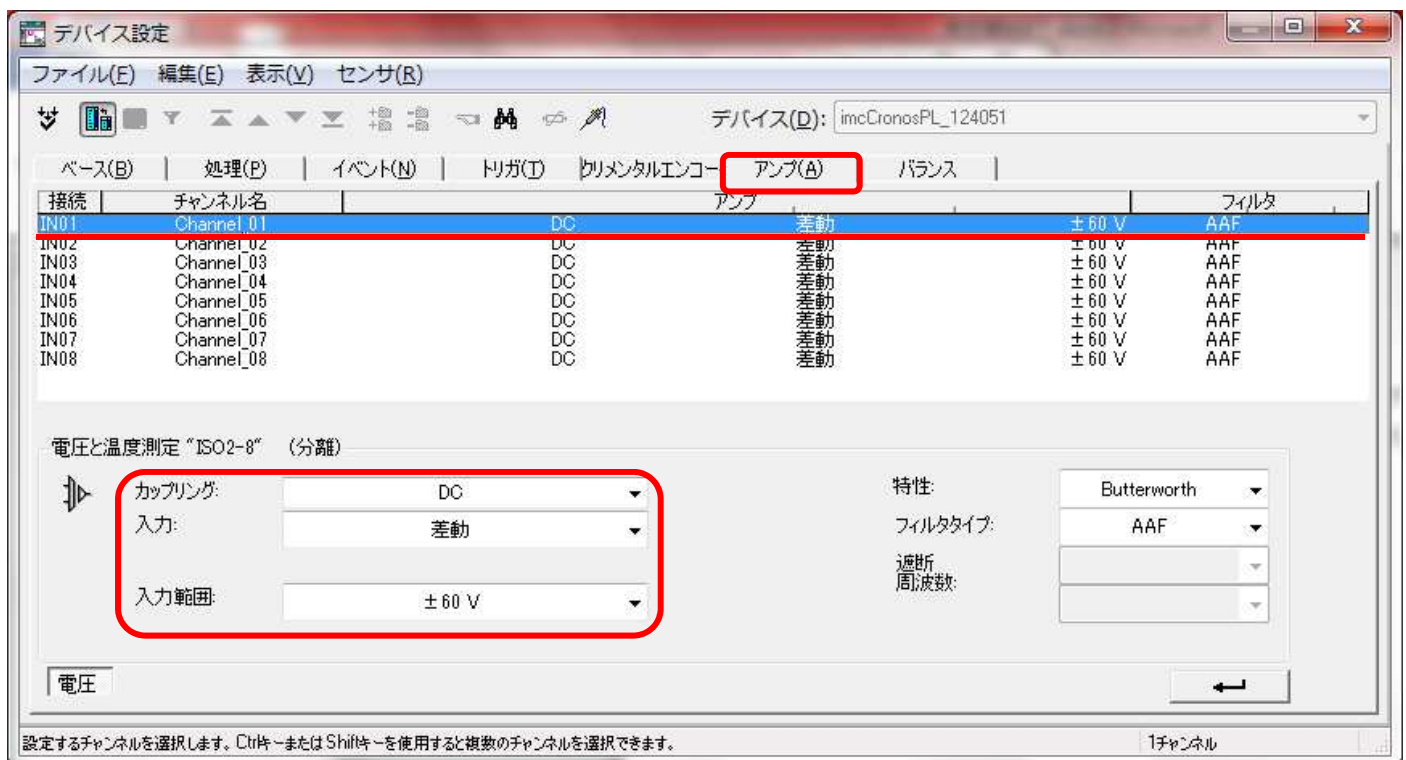


③ [デバイス設定]ウィンドウ内[アンプ]タブにて、計測レンジ等の設定を行います。

試験設定を行うチャンネルをクリックして色を反転します。この画面では例えば下記項目の設定を行うことができます。設定変更後は必ず PC のキーボード上の ENTER キーを押すか、右下の矢印ボタンをクリックして設定を反映させてください。

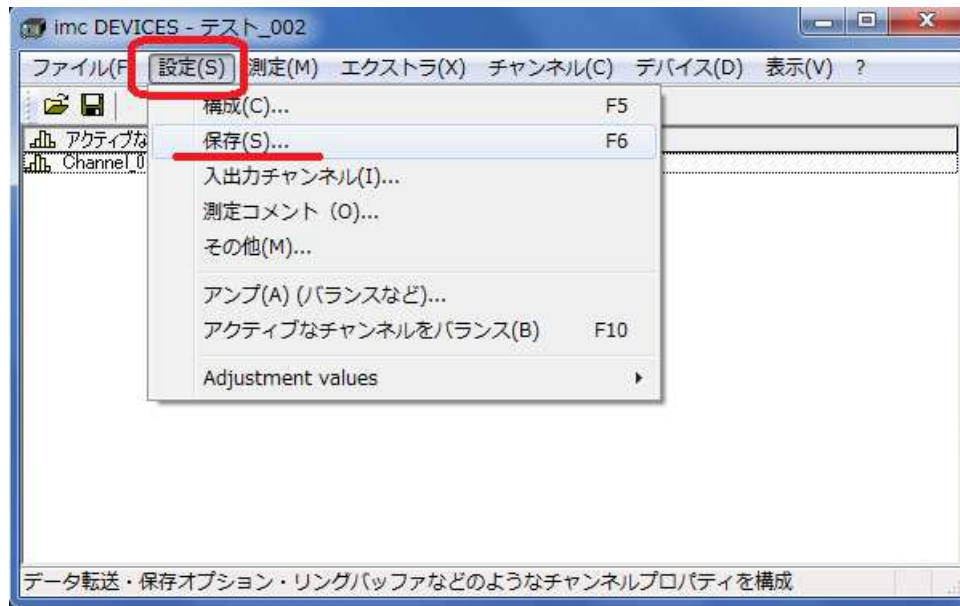
- [カップリング] : ブリッジ計測か DC 計測かを選択できます。
モジュールの種類によっては DC 計測しか選択できない場合もあります。
- [入力] : 差動計測かシングルエンド計測かを選択できます。
モジュールの種類によっては差動計測しか選択できない場合もあります。
- [入力範囲] : 計測レンジを設定します。

注) 計測レンジは、入力信号が取りえる最大値以上の値に設定して下さい。

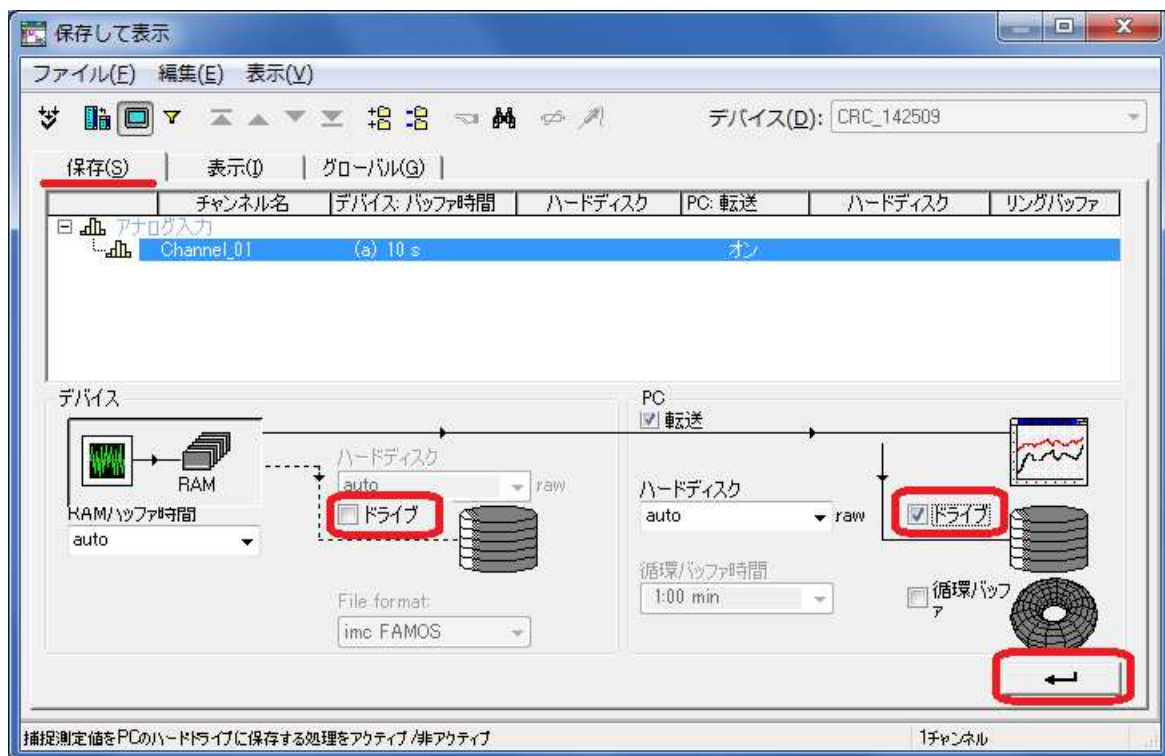


④ 設定が完了したら、[デバイス設定]ウィンドウ右上の[×]をクリックし[デバイス設定]ウィンドウを閉じます。

⑤ 次に計測データを電子ファイルへ保存する設定を行います。[設定] → [保存]の順に選択して下さい。



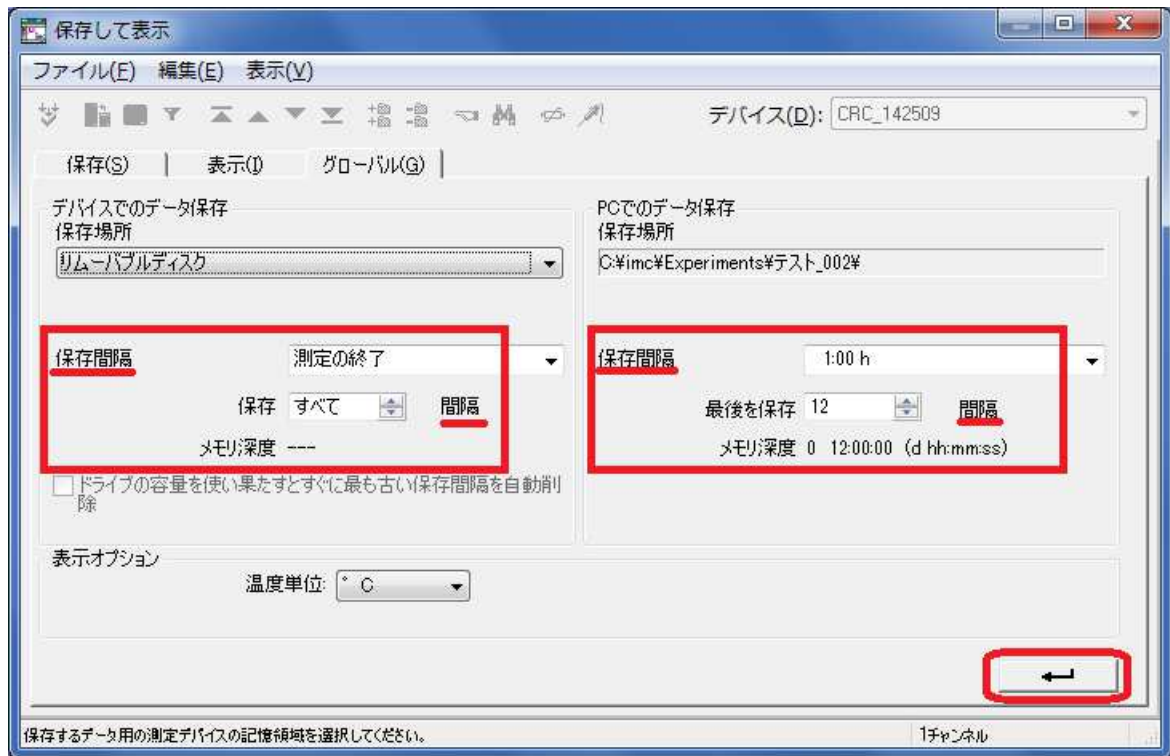
⑥ [保存]タブで、CRONOS 内の CF カードや HDD に保存する場合は左側[デバイス]領域の[ドライブ]にチェックを入れて下さい。計測 PC の HDD に保存する場合は右側[PC]領域の[ドライブ]にチェックを入れて下さい。設定後、必ず右下の[エンターキー]アイコンをクリックして下さい。



- ⑦ 一定時間毎に計測データを分割して保存する場合は[グローバル]タブで[保存間隔]と[間隔]を設定して下さい。左側の[デバイスでのデータ保存]が CRONOS 内の CF カードや HDD への保存、右側の[PC でのデータ保存]が計測 PC の HDD への保存の設定になります。設定後、必ず右下の[エンターキー]アイコンをクリックして下さい。

[保存間隔]が計測データを分割する時間、[間隔]が保存する個数を表します。下図の例では PC の HDD に計測データを 1 時間単位で 12 個までのフォルダーに保存します。12 個を超える場合は最も古いフォルダーが自動的に削除され、最新の 12 個のフォルダーが残ります。

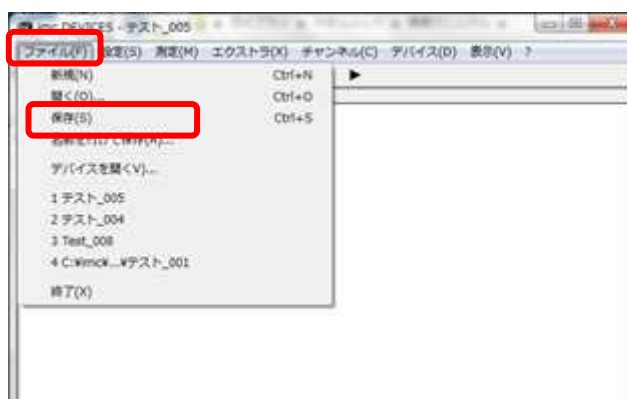
なお、上記の⑥で[ドライブ]にチェックが入っていない場合は、[グローバル]タブの設定によらず、計測データは保存されません。



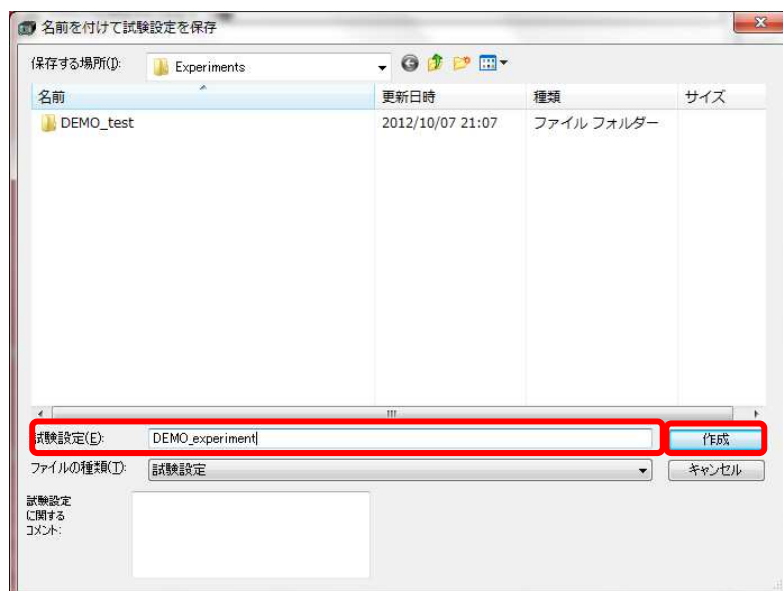
- ⑧ 設定が完了したら、ウィンドウ右上の[×]をクリックし[保存して表示]ウィンドウを閉じます。

・試験設定の保存

① imcDevices のメイン画面にて画面上部の[ファイル] → [名前を付けて保存(A)]の順に選択して下さい。



② 出現した[名前を付けて試験設定を保存]ウィンドウにて、[試験設定(E)]に作成する試験設定名を記入し、[作成]をクリックして下さい。作成する試験設定名は半角英数を使用することを推奨します。

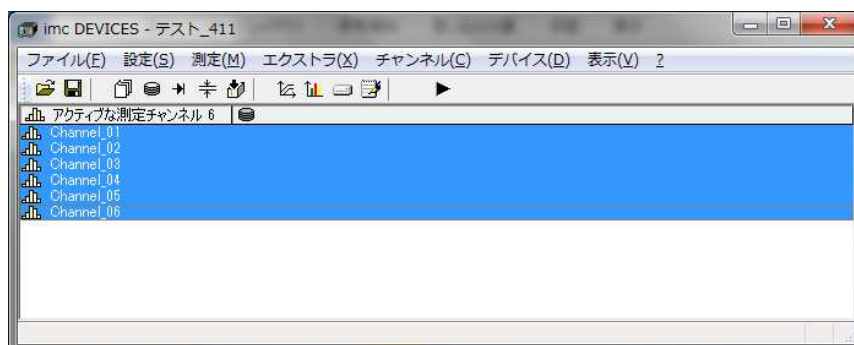


* 一度作成し保存した試験設定は、imcDevices メイン画面上部メニューの[ファイル] → [開く]か、imcDevices 起動時の下記画面の[開く]から読み込むことが可能です。

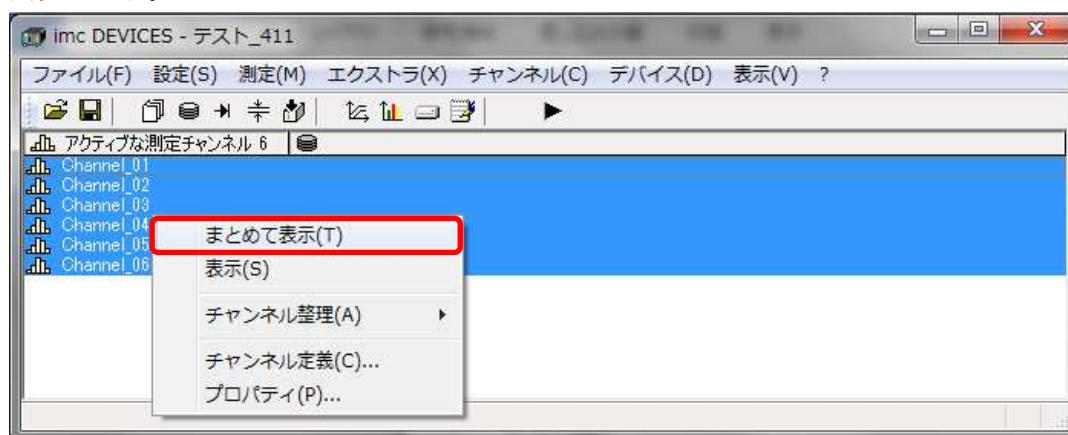


・計測の開始

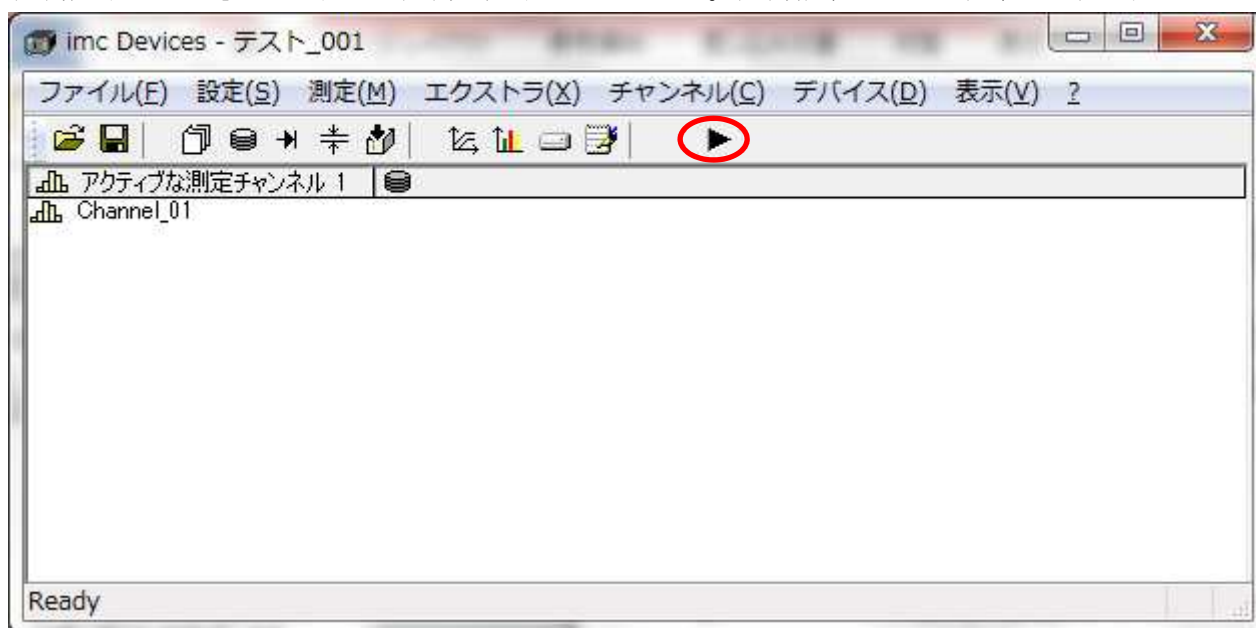
- ① まずカーブウィンドウを出力します。メイン画面にて、カーブウィンドウを出力したいチャンネル名をクリックして色を反転させます（PC のキーボード上の CTRL キーと併用することで、複数のチャンネルを選択することが可能です）。



- ② 色を反転させたチャンネル上にて右クリックし、[まとめて表示]を選択してください。するとカーブウィンドウが出現します。



- ③ [計測開始ボタン]をクリックし計測を開始してください。計測結果がカーブウィンドウに表示されます。



以上